

A Iから抜け出せない自分

白山中学校 二年 高木 斗佑馬

僕は、この作文をChatGPTにやつてもらおうとしていました。今の時代は、A Iに頼めば文を考えてくれるし、画像だつたり動画だつたりを生成することができ、とても便利な世界になっています。しかし僕の母親に

「そんなんじや、A Iに支配されるよ。」

と言われました。

そこで僕は、A Iに頼りすぎていてA Iから抜け出せなくなっているのだと気づきました。例えばYoutubeです。Youtubeは、自分の見た動画からそれと関連性の高い動画や、自分にあつた面白い動画を自動的にもつてきます。もうひとつは、Shortsという短い時間で終わる縦型の動画です。Shortsは画面を上にスワイプすることで、次の動画が出てきてスワイプし繰り返せば果てしなく動画が出てきます。そのため、何時間でも動画が見られてしまい、なかなか止められず親に注意されてしまします。

一日の中でも多くの時間がA Iを使用する時間になつてしまふと、自分の人生に大きな影響を及ぼしてしまうと考えました。

一つ目は、勉強が疎かになつてしまふところです。多くの時間をA Iを使う時間にしてしまふと、勉強をする時間がなくなつたり、集中力を保つことが難しくなつたりしてしまいます。

二つ目は、イメージする力や自分で考えることができなくなつてしまふところです。多くの時間をA Iを使う時間にしてしまふと、わからないうことがあります。そのため、A Iから抜け出すことができなくなつてしまふと、そのため、A Iから抜け出すことができなくなつてしまふと思いました。

この二つのことから、A Iは人によくなない影響を及ぼすと思い、なるべくA Iを使わないようにする方法と生活の二つを考えました。

一つ目は、一日しつかり細かいところまでスケジュールを管理することです。細かいところまでA Iを使わないようにスケジュールを管理することで、無駄な時間がなくなり、その分を勉強する時間にあてられたり、スポーツや趣味に使つたりすることで一日をとても有意義に過ごせると思います。

しかし自分は、勉強をしていてわからないものがあるとほぼ必ずといつていいほどスマホで調べてしまします。またスケジュールを毎日管理

するのは、とても手間がかかります。そして自分が、毎日スケジュール通り生活していたら、どこかでうまくいかないことがあると思います。そのためこの考えは、あまり現実味のない考え方だということに気づきました。

二つ目は、アウトドアの趣味やスポーツをやってみるとことです。アウトドアの趣味やスポーツをすることで、その趣味をもつとやりたい、そのスポーツを上手くなりたいからもつとやりたいという気持ちが芽生え、長時間趣味やスポーツを行うことで夜にA Iを使う間もなく寝てしまうと思いました。

しかし自分の入っているバスケ部は、顧問の先生が送つてくる戦術や体の使い方、技のコツや、やり方の動画はYoutubeのため見ざるを得ません。また上手くなるには、上手い人のプレーを見る必要があると思います。そのため、一番簡単に上手い人のプレーが見られるのはYoutubeだと僕は思います。

このように、現代では人間とA Iは切つても切れない関係になつていることがわかりました。A Iを使わないような生活をするのではなく、A Iを自主的に我慢することに意味があると思います。そのため、制限時間をつけてみると必要があるとわかりました。A Iにも人間にも長所と短所があるのでA Iから抜け出せなくならない程度に互いの長所と短所を補いあって、いい関係を作っていくたいと思います。